

総合病院 岡山赤十字病院

本 郷 基 弘

沿 革

当院は昭和2年に日本赤十字社岡山支部療院として、内科・外科・産科の3診療科50床の病院として開設され、今年で74年目を迎えた老舗の病院である。昭和18年に岡山赤十字病院と改称し、昭和20年の空襲で炎上したが復興に励み、昭和32年に総合病院を冠称した。昭和44年には玉野赤十字病院を吸収合併して玉野分院と命名した。昭和60年に現在の日銀岡山支店の所にあった旧病院から、青江に移転新築した。狭隘化解消と近代化の目的で平成10年に増改築に着手し、5階建立体駐車場の屋上にヘリポートを、1階には災害用備蓄倉庫を作った。増築したセンター棟には、救急外来、救急病棟、健康管理センターや内視鏡などの検査部門を充実させて本年6月に完成した。

現 況

病床数は本院500床、玉野分院83床、計583床で、そのほか分院には100床の老健施設を併設している。診療科は19科で、救命救急センター、基幹災害拠点病院、ヘリコプター救命搬送拠点病院、老人性痴呆疾患センター、エイズ治療拠点病院、脳死臓器提供病院、へき地中核病院、臨床研修指定病院などの指定を受けている。

病院は全国で92ある赤十字病院の内の1つで、済生会、厚生連とともに公的三団体と称される私立公的病院であり、経営は独立採算制をとっている。日

本赤十字社の事業は多岐にわたるが、中でも災害救護、救急医療、血液事業など、医療事業の占めるウエイトは極めて大きい。また、看護婦養成も大切な事業の1つであり、当院にも1学年35名の看護専門学校を併設していて、昭和11年以来今春までに1,630名の看護婦を世に送り出している。

病 院 の 理 念

1. 私たちは、赤十字精神に基づいた愛のころをもつて診療にあたります。
2. 私たちは、皆様の人権を尊重し、温もりのある医療を提供します。
3. 私たちは、自己研鑽に励み、良質の医療を提供するよう努めます。

この3つを病院の理念としていて、詰所などの要所に外へ向けて掲げ、患者・家族の方々に誓約してある。このほか、創立50周年の時には「信頼され 親しまれる 病院に」というモットーを、70周年の時には「手をつなぐ温もり 一地域とともに」というテーマを選定した。

特 色

1. 救 急 医 療

赤十字病院の最大の使命は救急医療である。昭和58年に県下で2番目の救命救急センターに指定され、救急医療への取り組みに一層拍車がかかった。現在、初期・二次・三次すべての救急を受け入れているため、年末年始やゴールデンウィークなどの休日には、1日に150名前後の急患診療で救急外来は多忙を極めている。医師当直体制は、内科系、外科系、小児科(NICU)、循環器科(CCU)、産科、麻酔科(ICU)の6系列に加えて管理当直もおいているため、常時



総合病院 岡山赤十字病院

7名の医師が当直の任についている。

2. 災害救護活動

医師1名、婦長1名、看護婦2名、事務職2名、計6名で構成される医療救護班は10班編成されていて、ローテーションで救護訓練参加や救急医療器材の保守点検を重ねて、忘れたところにやってくる災害時の緊急出動に迅速且つ適切に対応出来るよう備えている。

平成7年1月17日の阪神淡路大震災の時には、当日と翌日には各2班、以後は1班ずつ3月20日まで延33日間、救護班を被災地へ派遣し救護活動を実施した。また、平成12年10月6日の鳥取西部地震の際は、情報通信ままならぬままで救護班を見切り出発させたことが、翌日の「阪神大震災の教訓は生かされたか」という全国版の新聞記事の中で、岡山赤十字病院では地震発生5分後に救護班の一斉招集がわかり、1時間後には現地へ向けて出発していたと紹介され、面目を保つことができた。

3. 災害拠点病院の合同研修

平成9年1月に、当院は災害医療の研修を担当する、基幹災害拠点病院に指定された。以来、今日まで春・秋1回ずつの合同研修会を励行しており、今

春で9回目を実施した。この合同研修会には県からの補助も得られて、7拠点病院はもとより、県・市医師会、消防、自衛隊、看護学校、赤十字等の奉仕団、ボランティアなどからの積極的な協力のもと、毎回300~400名が参加する賑やかな研修会に成長して来ている。災害救護医療の基本講座を毎回必須とし、その他に各種災害を想定した救助訓練を可能な限りリアルに近い形で、主催病院が知恵をしばっている。年1回は当院で、あと1回は当院以外の拠点病院で開催しているが、回を重ねるごとに全体的にレベル向上が目に見えて来て、頼もしい限りである。

4. 開放病床・地域医療連携室

昭和60年に青江の現在地へ移転する際、岡山市医師会との話合いの中から、開放病床の設置が実現した。当時としては前例がなかったので、1年間の試行期間ののちに、医師会や厚生省の深い理解の賜として、全国で最初の公的病院の開放病床が昭和61年5月に認可された。当初は内科限定の40床だったが、平成9年にはそのうちの2床が小児科の開放病床になり、昨今は外科系の診療科にも開放できるよう検討中である。

病診の機能分担を明確にし、患者サービスの向上

に役立つ地域医療連携室を平成11年1月に開設したが、患者紹介や検査予約などで、かかりつけ医の先生方に重宝がられている。

5. 臨床医学教育

岡山大学医学部の卒前教育にクリニカルクラークシップが取り入れられると同時に、岡山市内の関連病院の1つとして、いち早く学生学外実習を受け入れている。臨床教授などの肩書を貰っている医師のみでは到底対応しきれないので、当該診療科の医師総出で指導に当たっている。大学以外の病院ならではの実地の臨床に、学生たちは少なからぬ興味を示しているように見受けられるが、臨床教育の効果が上ることを念じている。

平成16年春からの開始が決まった卒後臨床研修の必修化にむけて、岡大附属病院臨床研修センターが開設され、一昨年より2年間のローテイト研修の試行が始まっている。当院へも昨年度からスーパーローテーターを受け入れているが、研修医の身分、経済保証、研修の評価、研修病院や指導医の資格など、本格的にスタートするまでに解決されていなければならぬ問題が山積している。かつてのインターン制度の轍だけは踏まないよう、万全な準備がなされることを願ってやまない。

6. 病院ボランティア

既に20年ぐらい前から、民間ボランティア団体、退役婦長、赤十字奉仕団などから、独立した病院奉仕活動の提供を受けてはいたが、組織化されたものはなかった。災害ボランティアの目覚ましい活躍振りなどから、ボランティア活動が社会的評価を高めて行くに及んで、当院のボランティアも大同団結して、平成10年5月に「岡山赤十字病院ボランティア“こもれび”」がスタートした。現在の登録会員数は約220名で、活動内容は外来患者受診援助(受診手続、自動車乗降、車椅子介助など)、入院患者支援(清拭、洗髪、足浴など)、生け花、花壇の手入れ、趣味の教室、七夕飾り、納涼の夕べ開催、クリスマス飾り、バザーなど多岐にわたっている。活動資金は病院からは一切支出しておらず、年1回のバザーの商品提供を職員に広く呼びかけるだけである。患者さんには感謝され、本当に頭の下る思いである。

今後の課題

めまぐるしく変化する厳しい医療環境の中で、赤十字病院の使命である救急医療、災害救護を中心とした急性期医療に徹し、良質な医療を機能分担をわきまえて提供して行き、患者満足度を充実させて、地域医療に貢献したいと考えている。今年度中に病院機能評価を受審するよう申込み中である。

岡山赤十字病院 外来診察表 (平成13年6月1日現在)

内科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1診	鶴見	(甲)早川	渡邊	(糖)松岡	正路		岡崎	(糖)松岡	平木	
2診	松尾		金澤		松岡		玉置	(喘)玉置	金澤	
3診	加原	(糖)加原	横山		重戸		松下	(糖)加原	柏山	
4診	飛岡		高垣/稲垣		圓光/利根		富田		前川	
7診	岡崎		松岡		早川		加原		早川	
8診	(消)柏山		(消)松下		(消)鶴見		(消)横山		(消)重戸	
9診	(呼)平木		(呼)玉置		(呼)平木		(呼)渡邊		(呼)松尾	
10診	(循)稲垣/富田		(循)飛岡		(循)前川		(循)高垣		(循)正路	

(呼):呼吸器 (消):消化器 (循):循環器 (喘):喘息 (甲):甲状腺 (糖):糖尿病
 8診から10診は専門外来(予約患者のみ、午後2時から)。ただし、無印は一般内科外来です。

神経内科	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
1診	忠田		土田	検査	忠田	忠田	土田	検査	忠田	土田
2診	土田		末光		末光		忠田		末光	

午後 14:00~15:00 再診のみ

小児科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1診	國富	(免)楢原	楢原	総回診	水田	(免)國富	國富	(乳)徳永	楢原	総回診
2診	徳永	(喘)水田	水田	(國富)	中川	(喘)水田	徳永	中川	水田	(楢原)
3診	中川	(予)粟生	芳村		粟生	(予)芳村	芳村		中川/徳永	

(免):発達神経 (喘):喘息 (予):予防接種 (免):免疫血液 (乳):乳幼児健診
 予防接種/乳幼児健診 午後1:30~2:00 (予約制)
 心エコー: 徳永(1,3,5週)/中川(2,4週) (金曜日)
 脳波: 楢原(月曜日)、國富(水曜日)

外科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1診	名和	手術	辻/森山	辻	辻	手術	池田/内藤	辻	森山	手術
2診	高木		内藤	澤田	池田		名和/澤田	澤田	古谷	

外来受付 午前は8:30~11:30 午後(火・木曜日)の乳腺外来は午後1:30~3:30
 診察時間 午前中の前半は8:30~10:30、後半は10:30~12:30
 乳腺外来(火、木曜日)は午後1:30~4:00

整形外科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
初診	小野		(小野)		小野		(那須/小野)		那須	
再診	那須		(東原/井上)	手術	那須		(小西池/東原)	手術	小西池/東原	
再診	小西池/東原				小西池/東原					

専門外来
 手の外科、関節・リウマチ:月曜日 / 小児整形、脊椎:金曜日 各曜日の午後1:30~3:30
 膝:火曜日の午前10:45~11:30
 午前の診療は午前10:45を境に医師の交代があります。

脳外科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1診	鈴木		重松		休診(手術)		鈴木		重松	
2診	高尾						高尾			

皮膚科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	1診	長尾	7/14日* -外来	長尾	手術	長尾	イボ外来	長尾	手術	長尾
2診	加藤		加藤		加藤		加藤		加藤	

泌尿器科	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
	1診	近藤	手術	大橋		近藤		大橋	手術	秋山
2診	秋山		秋山		大橋		秋山		近藤	

産婦人科	月		火		水		木		金		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
	初診	江尻		長野/立石		本郷		宮木		関	
	再診	関		宮木		長野		江尻		立石	
妊婦 接診	立石		江尻		宮木		関		長野		

眼科	月		火		水		木		金		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
	1診	中山		中山		藤原		(交代)中山		中山*	
	2診	藤原	手術	伊永		伊永		(交代)藤原		藤原	手術
3診	伊永						(交代)伊永		伊永		

耳鼻科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	1診	赤木	特殊検査	武田	手術	赤木	特殊検査	赤木	手術	武田
2診	滝下		滝下		武田		滝下		滝下	

放射線科	月		火		水		木		金		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
	胃透視	小林		小林		三船		橋村		向井	
	注腸	向井		橋村		林		小林		三船	
	検診	林 三船		向井 三船		橋村 小林		林 向井		橋村 小林	
	一般透視	林		橋村		林		橋村		林	
	CT	林/橋村/ 向井/三船		林/橋村/ 向井/三船		林/橋村/ 向井/三船		林/橋村/ 向井/三船		林/橋村/ 向井/三船	
	MRI	林		向井		三船		橋村		小林/橋村	
RI	向井		小林/橋村		橋村		三船		橋村		
治療設定	林		林		林		林				

麻酔科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	交替制						交替制			

歯科・口腔外科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	初診	永山		青山	手術	永山		永山	手術	青山
再診	青山・永山	永山・青山	青山		青山・永山	永山・青山	青山		青山	青山
診察時間 初診 午前8:30~11:30 再診 月、水、金曜日は午前8:30~11:30 火、木曜日は午前8:30~11:00 (ただし、月、水曜日の午後は予約が必要です)										